

資料 1 - 1

第 4 回 府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）

- 開催日時 令和 6 年 3 月 2 5 日（月）午後 3 時半～午後 4 時 7 分
- 開催場所 府中市役所「おもや」4 階 A 4 0 1 会議室
- 出席委員 6 名（5 0 音順）
伊浪委員、榎本委員、高橋委員、中島副会長、藤江会長、山口委員
- 欠席委員 2 名
金子委員、小島委員
- 出席説明員等
佐々木政策経営部行政改革担当参事兼行政経営課長、
大木行政経営課長補佐、橋本行政経営課主査
- 傍聴者 なし
- 議事日程
 - 1 開会
 - 2 確認事項
第 1 ～ 3 回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について
 - 3 報告事項
重点プロジェクトに設定された事務事業の令和 6 年度予算への反映状況について
 - 4 その他

■会議録（要旨）

○藤江会長 ただいまから、第4回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会をはじめます。事務局から本日の委員の出席状況を報告してください。

○事務局 出席状況を報告します。
（出席状況及び会議有効成立の報告）

○藤江会長 次に、事務局から本日の傍聴希望の状況を報告してください。

○事務局 本日、傍聴希望者はいません。

○藤江会長 次に、事務局から本日の配布資料を説明してください。

○事務局 資料は、事前に郵送している3点と、本日机上に配布している2点となります。
（配布資料の確認）

確認事項

第1～3回府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会会議録（要旨）について

○藤江会長 昨年7月に開催した3回の協議会の会議録が資料4-1から4-3として事前に送付され、指定された期日までに修正等の連絡はなかったと事務局から報告を受けています。最終確認になりますが、修正等について意見はありますか。

（挙手及び発言なし）

○藤江会長 それでは、第1～3回協議会会議録の内容を確定したいと思しますので、事務局は速やかに公開の手続きを行ってください。

報告事項

重点プロジェクトに設定された事務事業の令和6年度予算への反映状況について

○藤江会長 まず、事務局から資料の説明をしてください。

○事務局 配布資料4-4を用いて説明します。
(重点プロジェクトの対象事務事業の令和6年度予算について説明)

○藤江会長 事務局から資料に基づく説明がありました。
昨年7月の協議会での評価結果などを受け、市が令和6年度予算を作成し、その中から重点プロジェクトに設定された事務事業の反映状況をまとめたものについての報告でしたが、意見や質問はありますか。

(挙手及び発言なし)

○藤江会長 それでは、報告事項は了承することとします。私達が今年度取り組んだ評価作業は、改めて担当課が予算の立て方について考える機会になったと受けとめていきますし、来年度は今年度の改善すべき点を確認しながら進めていきたいと思えます。

次に、次第4の「その他」として、委員の皆さんから何かありますか。特にないようですが、事務局からは何かありますか。

○事務局 事務局から3点連絡します。

- ①次年度の評価方法について(担当委員の分野のシャッフル)
- ②次年度スケジュールについて(6~7月に3回、3月に1回)
- ③本日の会議録の件(次年度最初の協議会で確認後に公開)

○藤江会長 事務局から次年度に向けて連絡がありました。実際に評価を行うことで得られた様々な気づきを踏まえ、私たちの評価作業自体も見直し・改善を行っていききたいと思えますので、引き続きよろしく願います。

本日は想定以上にスムーズに進行しましたので、最後に委員の皆様方から一言ずつ今年度の感想を含めたご意見等をいただければと思えます。

○伊浪委員 次年度は担当をシャッフルするということで、またモチベーション高く取り組みたい。先日新しくできた子ども発達支援センター「はばたき」を見学する機会があったが、様々な立場、視点でこの協議会にも関わっていければと思う。

○榎本委員 一市民として参加させてもらったが、やはりいろいろなことを知ることからスタートするとすごく感じた。ちょうど明日あるイベントに向けて、いろいろな業者を回ったり、市の施設を予約するなど準備をしているが、こういった様々な経験が結びつくことがあるので、もっと市民一人ひとりが知ること、市の未来が拓けると思う。

○山口委員 担当のシャッフルは気になるが、協議会での評価作業がこういう形で反映されているのが素晴らしく、本当にやりがいを感じた。また、私も「はばたき」の内覧会に参加し、素晴らしい施設だったのでさすが府中市だと改めて思った。やはり、何かソフト面が非常に重要になり、それはまた別の場での協議になるとは思うが、そういった建物があることが内容の充実につながっていくと思う。

○高橋委員 思い起こすとあつという間だった。多くの市民にとって総合計画は、普段触れるどころか恐らくあまり存在も知られておらず、私自身も広報などで少し名前を見ていた程度だったが、この機会をきっかけに、今後もよりより府中の実現に向けて携わっていきたいと思う。担当のシャッフルについて、公募委員はある程度シャッフルされてもいいが、学識委員はそのスペシャリティを発揮した方がいいと思った。

○中島副会長 各委員の専門や関心の近い分野の事業を評価したため、担当委員の中にある思いが評価につながった一方で、他の委員は客観的な数値的な事実での評価となったので、多少意見の食い違いがあったと思うが、私それはとても大事なことだと思った。遠慮して異なる意見をそのまま受け入れるのではなく、こうではないかと反論し合いながら議論して決めたプロセスがとてもよかった。

また、次年度の担当のシャッフルについては、様々な意見があると思うが、自分が専門ではない立場から、他の委員が評価したものに意見を出す形もよいのではないか。先ほどの高橋委員の意見とは逆に、学識委員の方が満遍なくできないといけないので、むしろ学識委員をシャッフルして公募委員は変わらないパターンもよいと思うが、ともかくお互い遠慮なく意見を言える環境で評価を行うことが大切である。

○藤江会長 知ることは大切であるといった意見はそのとおりだと思いますし、知らないことは勿体ないことなので、担当分のシャッフルをしながら委員の皆さんに行政のことを知ってもらうだけでなく、私達の評価作業を通じて、行政の方にも市民の思いを知ってもらえる場になっている気がします。新年度もその役割は変わらないと思いますので、評価自体は悩ましい作業かもしれませんが、やっていてよかったと言えるよう有意義な作業になるように進めていきたいと思います。

本日の感想や課題の共有も含めて本当に今年度の会議がよい成果が得られたと思いますので、皆様のご尽力に感謝したいと思います。

それでは、以上をもちまして、令和5年度の協議会を閉会します。

以上